

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	田辺中学校	階数	地上3F
建設地	京都府京田辺市北鉢立21番地	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	290 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	1,800 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2011年6月20日
敷地面積	18,357 m ²	作成者	東條和彦
建築面積	698 m ²	確認日	2011年6月24日
延床面積	2,027 m ²	確認者	乾 康雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 87%
④上記+ 87%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	自然エネルギーの活用などで環境負荷の低減を図り、地球温暖化の防止に配慮する。	
その他	0	
Q1 室内環境	自然エネルギーの活用などで環境負荷の低減を図り、地球温暖化の防止に配慮する。	Q2 サービス性能 バリアフリー、耐震性の配慮をおこなった。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地周辺の緑化配慮をおこなった。	
LR1 エネルギー	屋根の外断熱をおこなった。	LR2 資源・マテリアル 再生クラッシュランの利用等。
LR3 敷地外環境	騒音、振動の防止等。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される